



日本は世界の中でも、地震が多い所なの

日本は地震の多い国

日本は、世界の中でも地震が多い国です。日本全体では、体を感じる地震が、1年間に500～1000回ぐらいあります。日本の中でも、地域によって差がありますが、札幌では0～15回ぐらい、東京では25～60回ぐらい、大阪では0～20回ぐらいです。気象庁が観測した、1996年の1年間の日本付近の地震は、1164回で、1995年の1902回に比べて、少なくなっています。1995年に地震が多かったのは、この年の1月に、兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）があった、影響もあります。

世界の中でも、地震がほとんど、起こらない所があります。フランスのパリ、イギリスのロンドン、アメリカのニューヨークなどでは、体を感じる地震は、ほとんど起こっていません。

プレートがぶつかりあう所は、地震が多い

地球の表面は、厚さが70～100キロメートルの、十数枚の岩石の板で、おおわれています。この岩石の板を、プレートといいます。プレートには、大陸プレートと海洋プレートがあって、大陸や海をのせて、1年間に数センチメートルの速さで、少しずつ動いています。

日本列島では、大陸プレートである、ユーラシアプレートと北アメリカプレート、海洋プレートである、フィリピン海プレートと太平洋プレートの4つが、たがいにぶつかりあっています。このように、プレートがぶつかりあっているので、日本は、地震が多いといわれています。（監修・国司 真）

